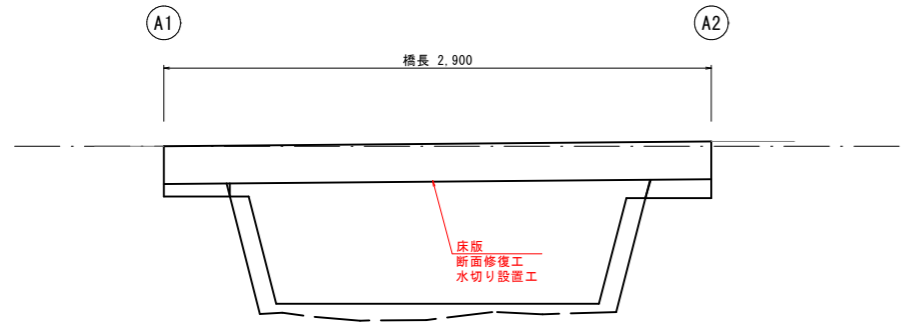


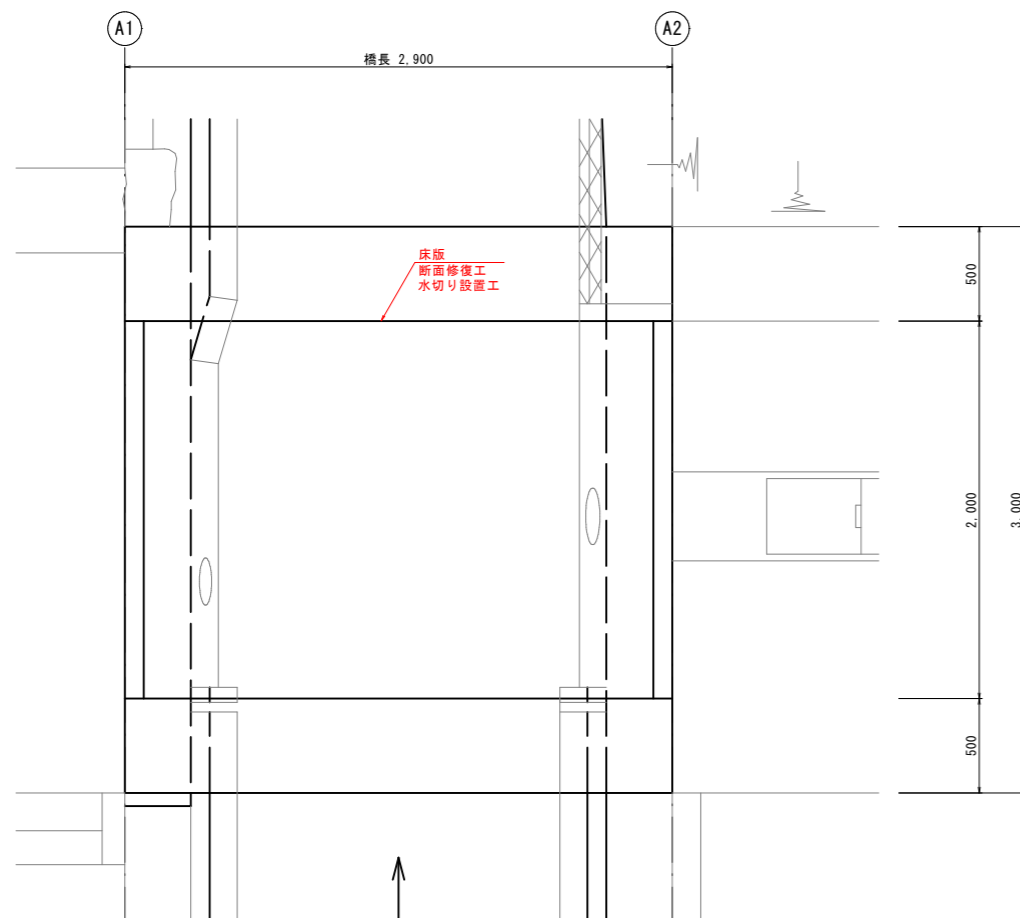
補修一般図

橋下面 (床版)

側面図

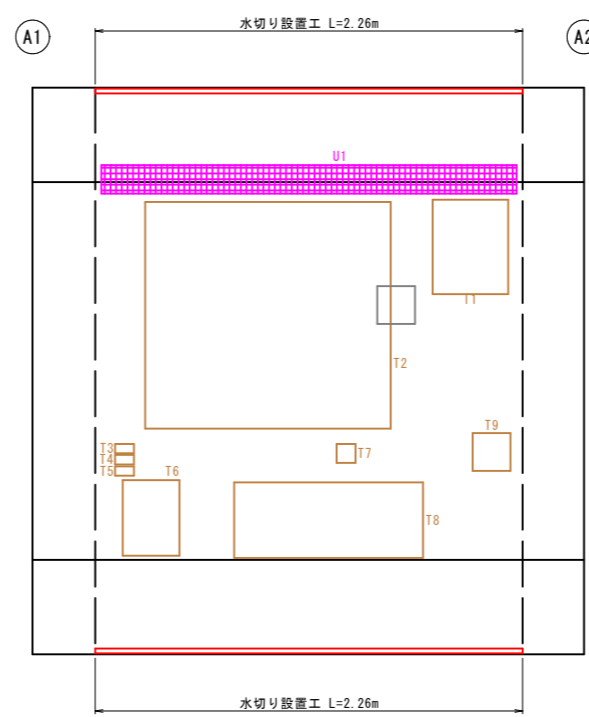


平面図



断面修復工・水切り設置工

橋下面 (床版)

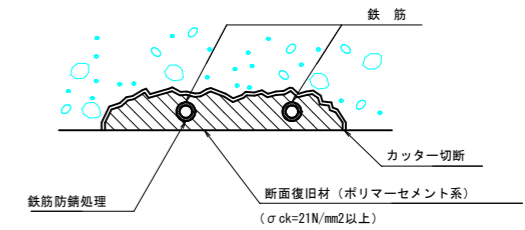


断面修復工

合計(m²) 2.675

断面修復工

(ポリマーセメントモルタル)

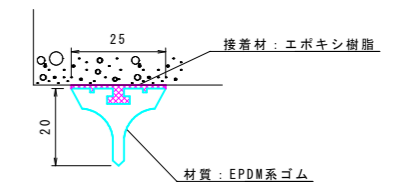


注記

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。
2. 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷をあたえないよう周囲に深さ1cm程度までコンクリートカッターにより切断目地を入れ、内部鉄筋の表側に露出する程度まではつり落とす。
3. 使用材料により、下地コンクリート面にプライマーを塗布する。
4. 使用材料
断面修復材はポリマーセメントモルタルとし、「構造物施工管理要領(平成25年)東日本・中日本・西日本高速道路(株)」に示す断面修復材の規格に準ずる。
5. 既設鉄筋に著しい減肉や破断などが見られる場合は、監督員と協議の上、既設鉄筋と同等以上の補強鉄筋を配置すること。

重ね継ぎ手長の目安 4OD (D: 鉄筋径)
 $4OD \geq 35.7 \times D$
 $= (\sigma_{sa} / (4 \tau_{oa})) \times D$ 道路橋示方書Ⅲ(コンクリート橋)P84
 σ_{sa} 鉄筋の引張強度 SD345 → 200(N/mm²)
 τ_{oa} コンクリートの付着応力度 鉄筋構造物強度21 N/mm² → 1.4(N/mm²)
 $= (200 / (4 \times 1.4)) \times D$

水切り設置工 S=1:1



注記

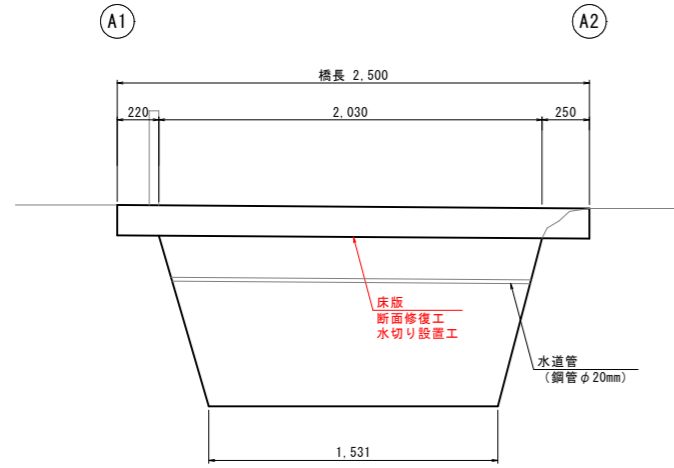
1. 水切り材を設置する下地面を清掃し、ホコリや油分を取り除くこと。
2. 設置面に凹凸が多い箇所は、不陸調整を行うこと。

(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

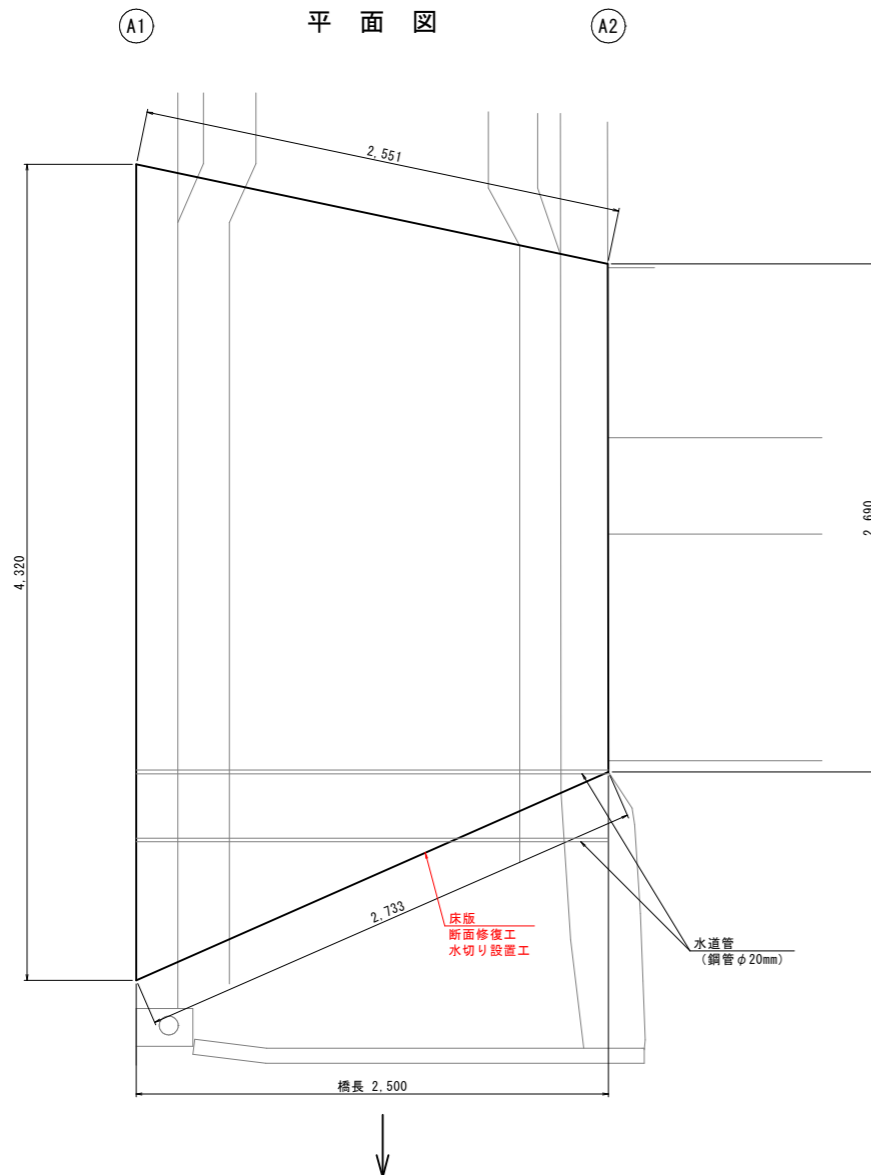
図面番号	第7枚内1号
図面名称	市道下和田東4号線 1号橋ほか3橋りょう補修工事 補修図1
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

補修一般図

側面図

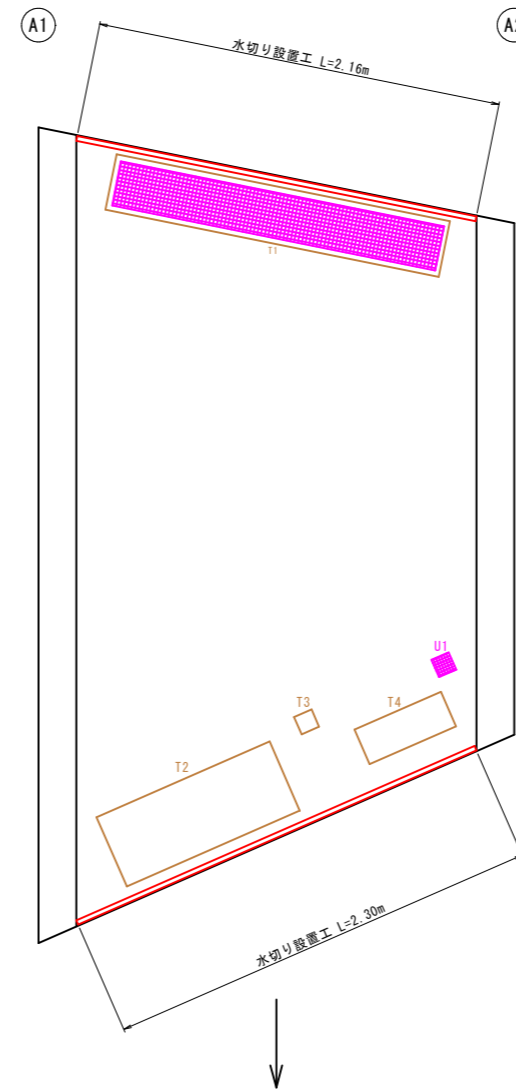


平面図



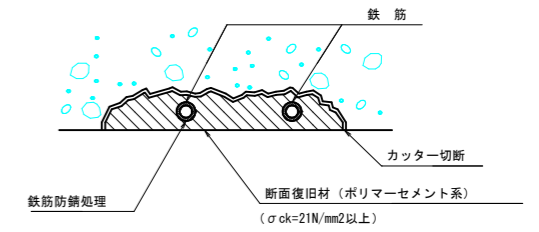
断面修復工・水切り設置工

橋下面 (床版)



断面修復工
合計(m²) 1.140

断面修復工
(ポリマーセメントモルタル)

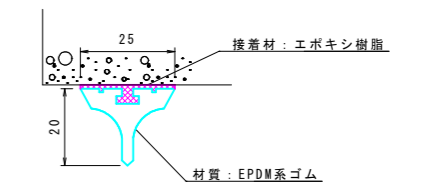


注記

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。
2. 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷をあたえないよう周囲に深さ1cm程度までコンクリートカッターにより切断目地を入れ、内部鉄筋の裏側が露出する程度まではつり落とす。
3. 使用材料により、下地コンクリート面にプライマーを塗布する。
4. 使用材料
断面修復材はポリマーセメントモルタルとし、「構造物施工管理要領(平成25年)東日本・中日本・西日本高速道路(株)」に示す断面修復材の規格に準ずる。
5. 既設鉄筋に著しい減肉や破断などが見られる場合は、監督員と協議の上、既設鉄筋と同等以上の補強鉄筋を配置すること。

重ね継ぎ手長の目安 4 OD (D: 鉄筋径)
 $4 OD \geq 35.7 \times D$
 $= (\sigma_{sa} / (4 \tau_{oa})) \times D$ 道路橋示方書Ⅲ(コンクリート橋)P84
 σ_{sa} 鉄筋の引張強度 SD345 → 200 (N/mm²)
 τ_{oa} コンクリートの付着応力度 鉄筋構造強度 21 N/mm² → 1.4 (N/mm²)
 $= (200 / (4 \times 1.4)) \times D$

水切り設置工 S=1:1



注記

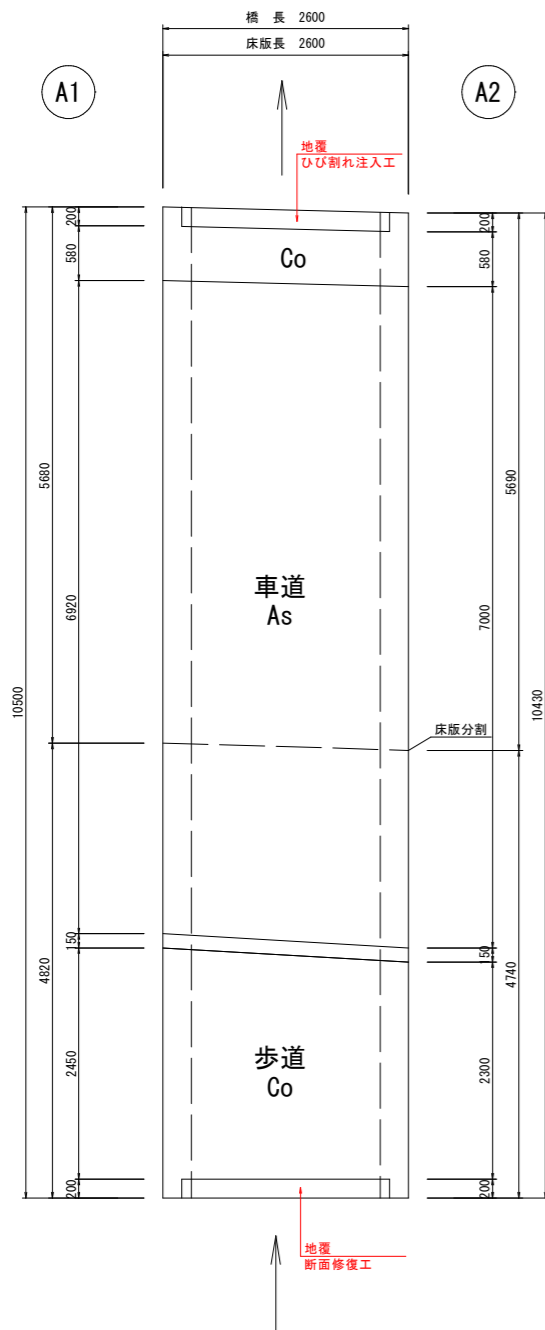
1. 水切り材を設置する下地面を清掃し、ホコリや油分を取り除くこと。
2. 設置面に凹凸が多い箇所は、不陸調整を行うこと。

(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

図面番号	第7枚内2号
図面名称	市道下和田東4号線 1号橋ほか3橋りょう補修工事 補修図2
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

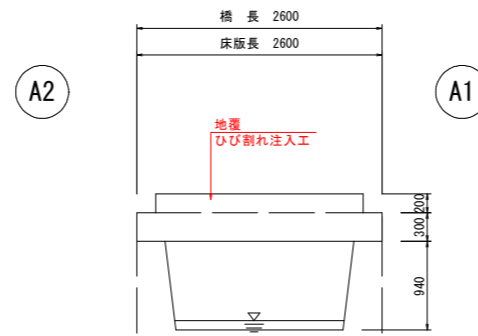
富益崎津3号線 1号橋 橋梁補修一般図 S=1:40

平面図

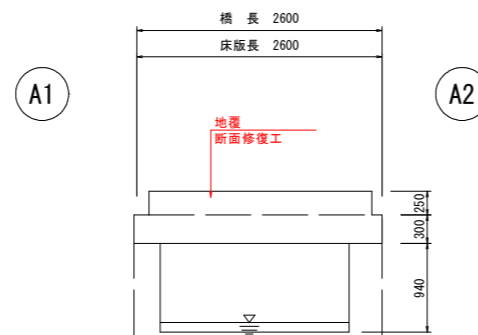


側面図

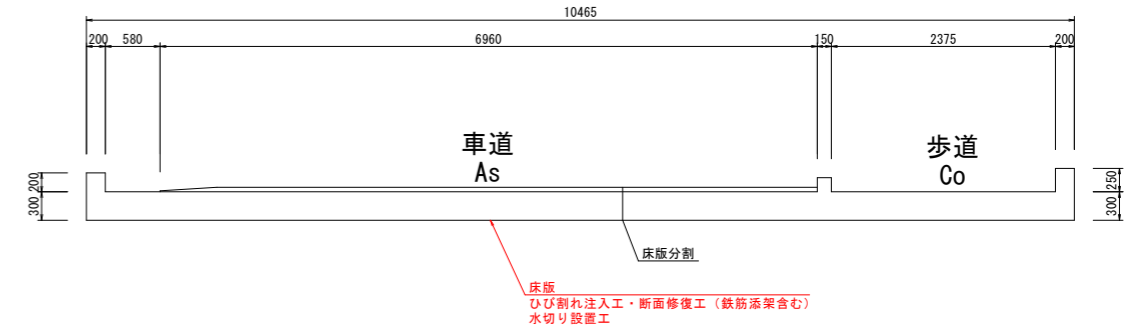
下流側



上流側



断面図

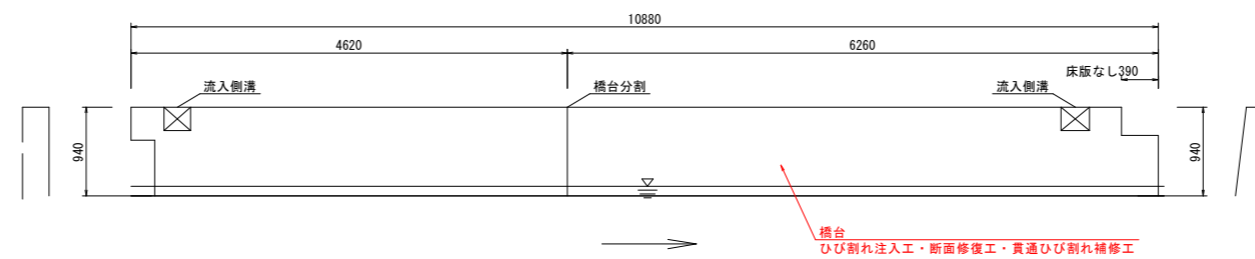


補修工一覧表

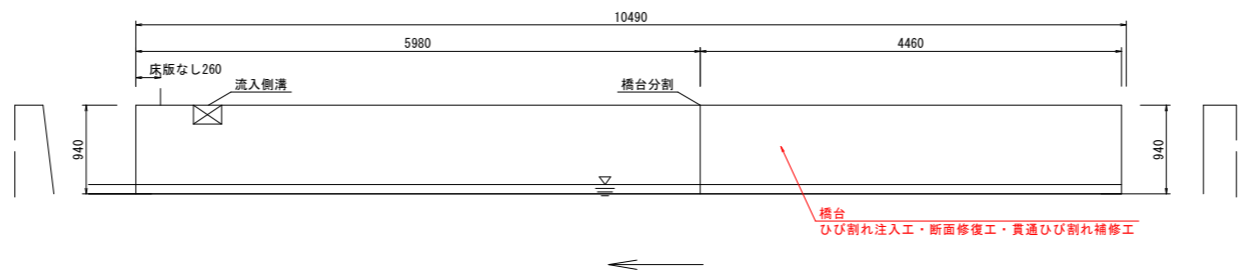
部位	工種	
床版	ひび割れ注入工	低圧注入工法 (エポキシ樹脂系注入材 3種)
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル・左官
	断面修復工 (鉄筋添架)	鉄筋・ポリマーセメントモルタル・左官
	水切り設置工	EPDMゴム (ウォーターカッター同等品)
地覆	ひび割れ注入工	低圧注入工法 (エポキシ樹脂系注入材 3種)
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル・左官
橋台	ひび割れ注入工	低圧注入工法 (超微粒子セメント系注入材)
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル・左官
	貫通ひび割れ補修工	鉄筋・ポリマーセメントモルタル・左官

下部工

A1橋台



A2橋台



注記)

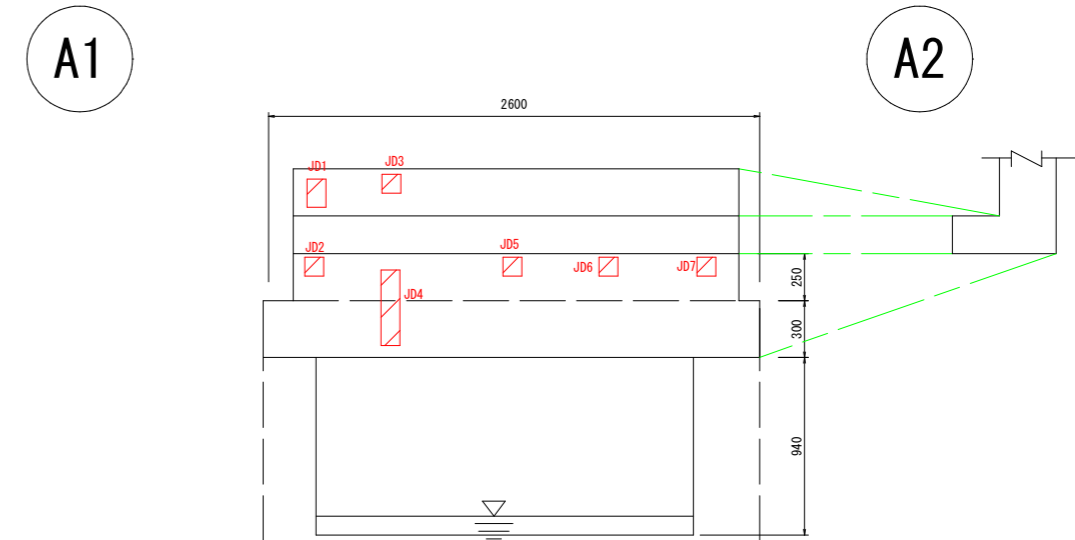
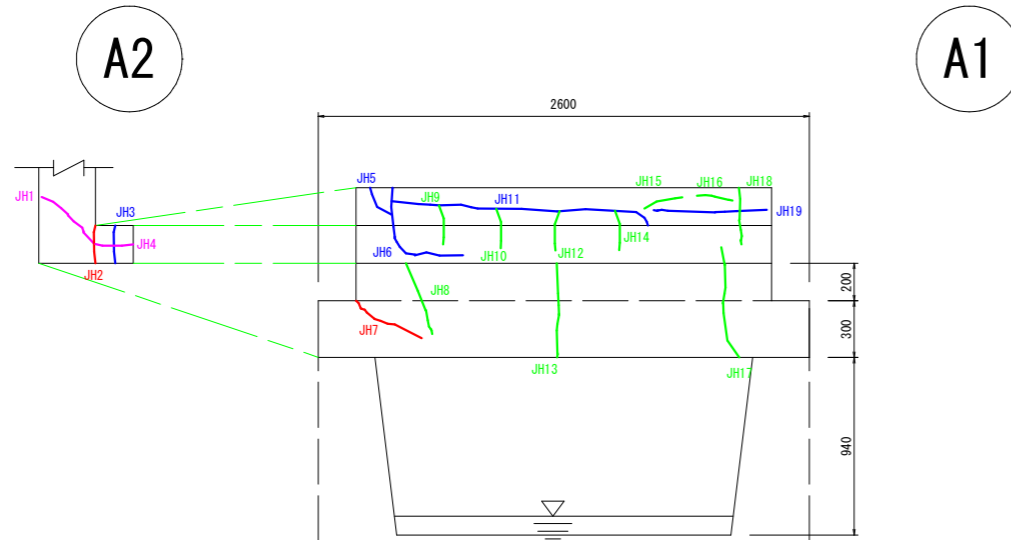
- 補修寸法は現地実測の上、最終決定すること。
- はつり施工時に内部コンクリートおよび鉄筋状況を確認し、劣化していない範囲を確認した後、断面修復範囲を決定すること。

(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

図面番号	第7枚内3号
図面名称	市道下和田東4号線 1号橋ほか3橋りょう補修工事 補修図3
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

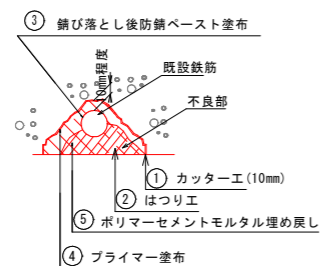
下流側面図・地覆展開図

上流側面図・地覆展開図

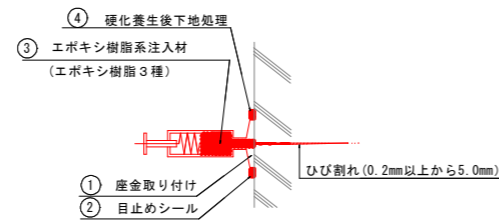


- 注記)
- 補修寸法は現地実測の上、最終決定すること。
 - はつり施工時に内部コンクリートおよび鉄筋状況を確認し、劣化していない範囲を確認した後、断面修復範囲を決定すること。

断面修復工 S=Free



ひび割れ注入工 S=Free



ひびわれ補修工
合計(m) 7.30

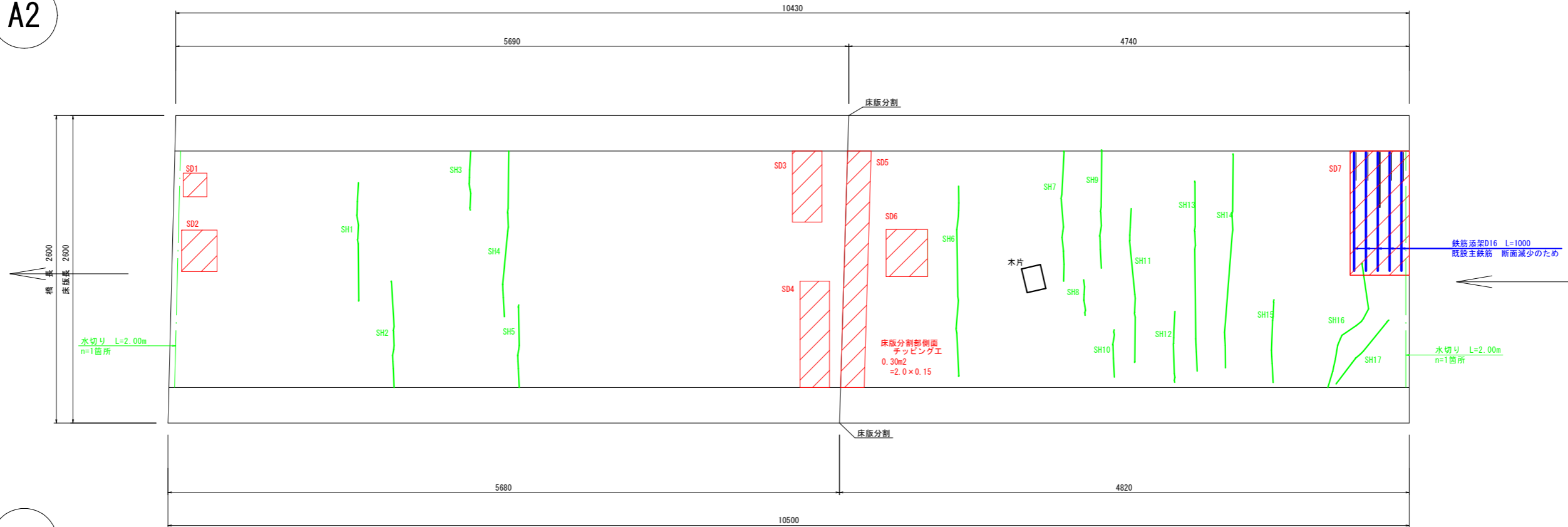
断面修復工
合計(m) 0.110

(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

図面番号	第7枚内4号
図面名称	市道下和田東4号線 1号橋ほか3橋りょう補修工事 補修図4
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

床版下面図

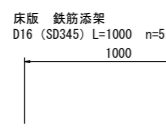
A2



A1

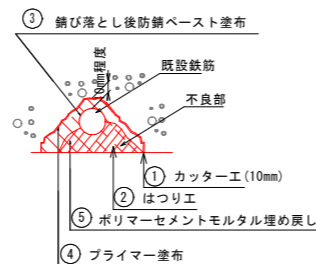
ひびわれ補修工
合計(m) 16.70

断面修復工
合計(m²) 1.440

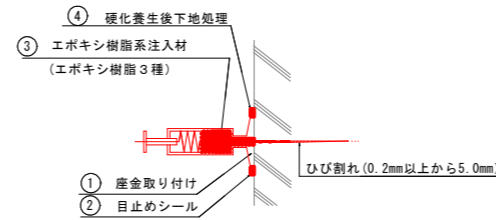


注記
鉄筋添架は、鉄筋かぶりを確保するため既設主鉄筋の内側に設置し、鉄筋露出部から定着長500mmを確保して、断面減少した既設主鉄筋に結束すること

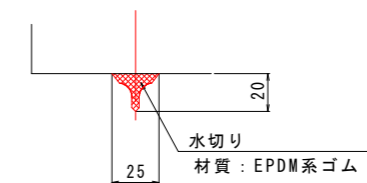
断面修復工 S=Free



ひび割れ注入工 S=Free



水切り工詳細図 S=1:2



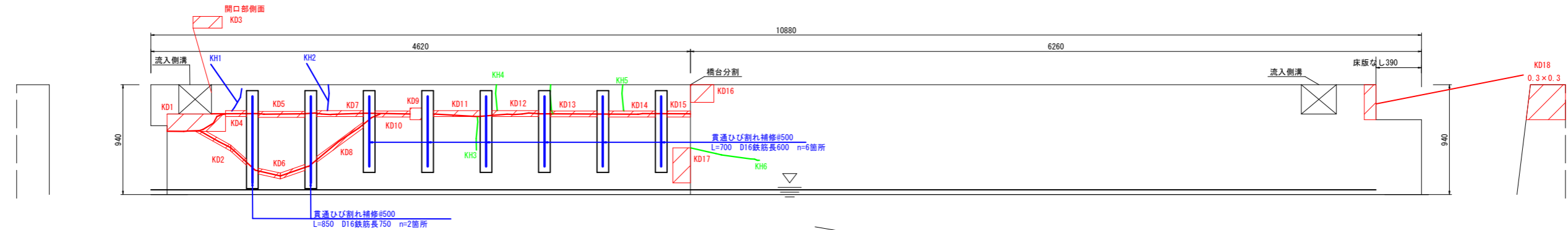
- 注記)
1. 補修寸法は現地実測の上、最終決定すること。
 2. 床版下面の断面修復工は、既設鉄筋は背面まで露出させてモルタル埋め戻しすること。
 3. はつり施工時に内部コンクリートおよび鉄筋状況を確認し、劣化していない範囲を確認した後、断面修復範囲を決定すること。
 4. 床版分割部側面チッピング工は、下流側床版側面の平坦な面に対し行うこと。
 5. 水切り工は、断面修復工の後に施工すること。

(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

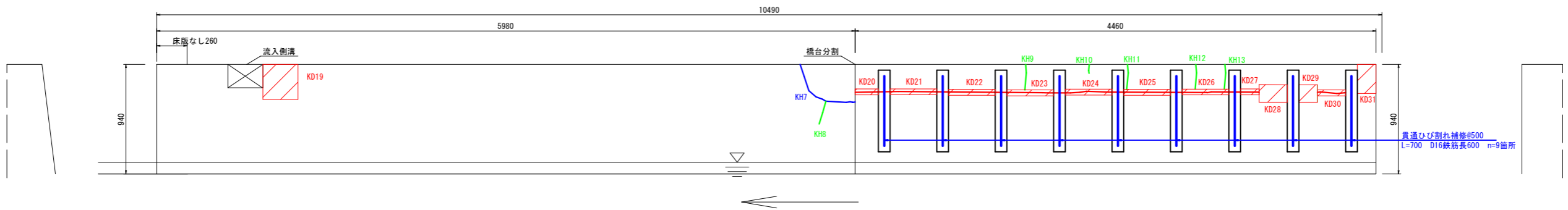
図面番号	第7枚内5号
図面名称	市道下和田東4号線 1号橋ほか3橋りょう補修工事 補修図5
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

下部工正面図

A1橋台



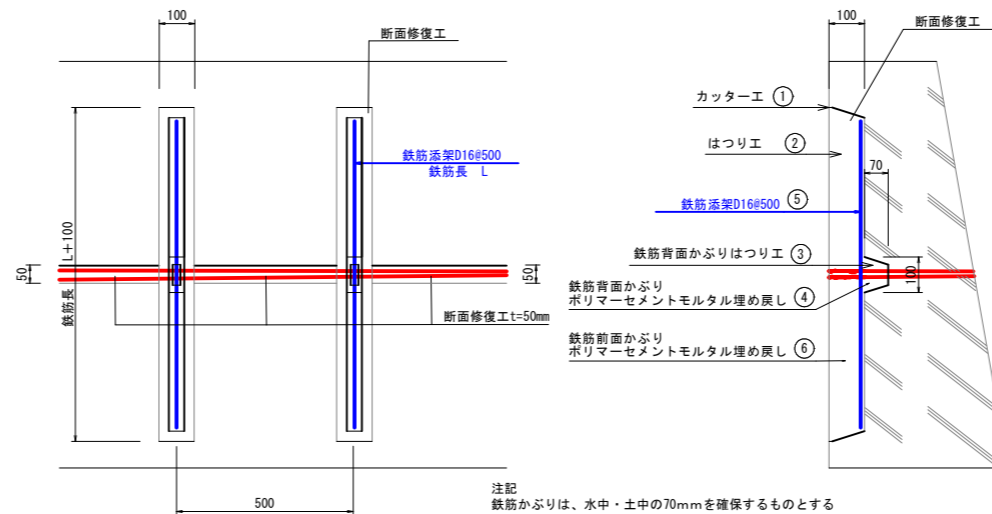
A2橋台



ひびわれ補修工
合計(m) 3.69

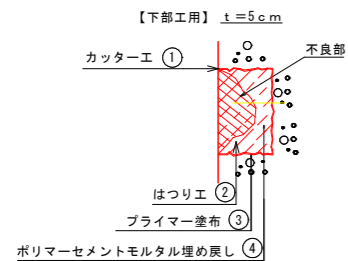
断面修復工
合計(m²) 0.850

貫通ひび割れ補修工 S-Free



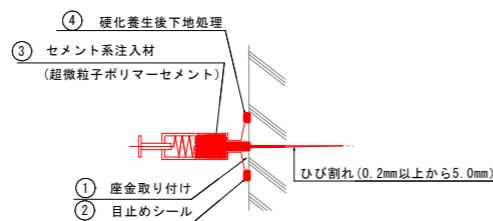
- 注記)
1. 補修寸法は現地実測の上、最終決定すること。
 2. はつり施工時に内部コンクリートおよび鉄筋状況を確認し、劣化していない範囲を確認した後、断面修復範囲を決定すること。

断面修復工 S-Free



注記
はつり深さの標準はt=5.0cmとするが、はつり体積表示(深さ表示)を示した箇所は、その深さまではつりとする

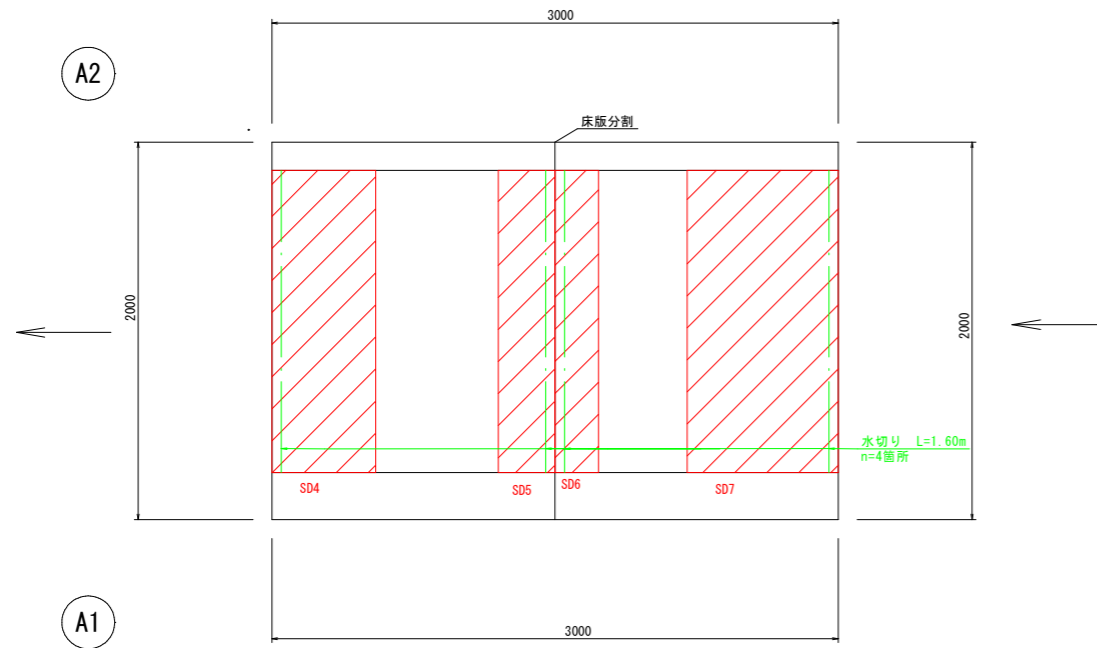
ひび割れ注入工 S-Free



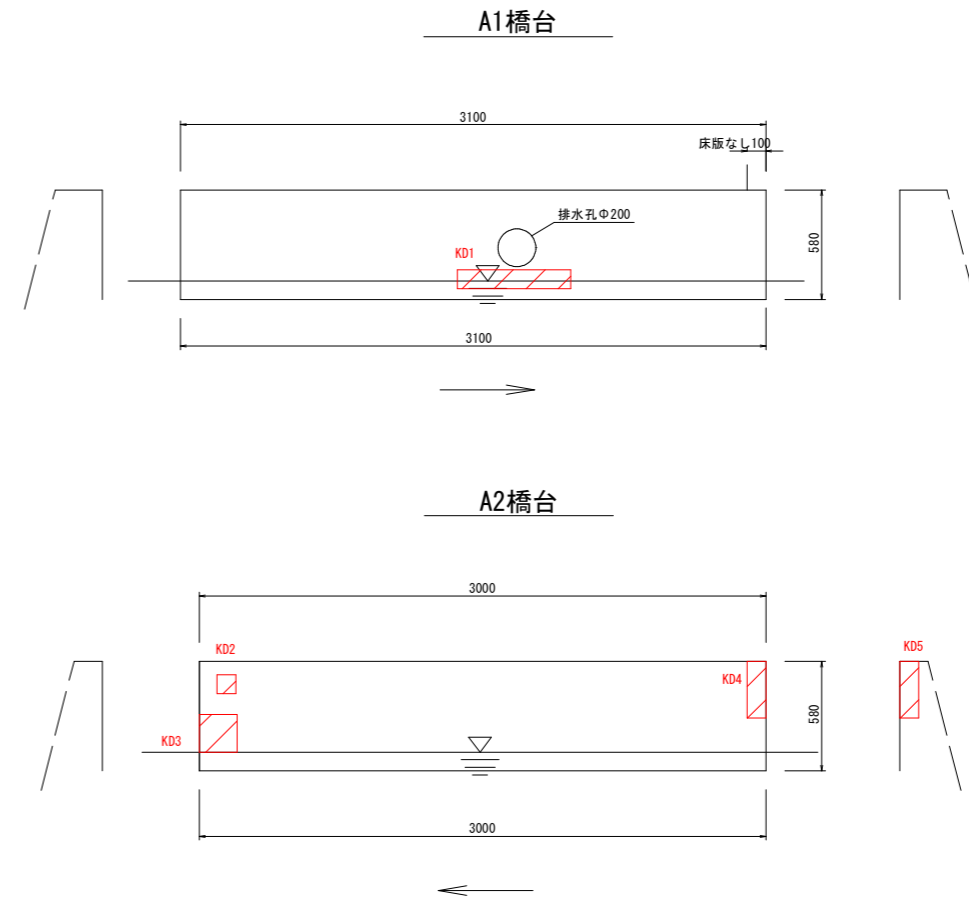
(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

図面番号	第7枚内6号
図面名称	市道下和田東4号線 1号橋ほか3橋りょう補修工事 補修図6
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

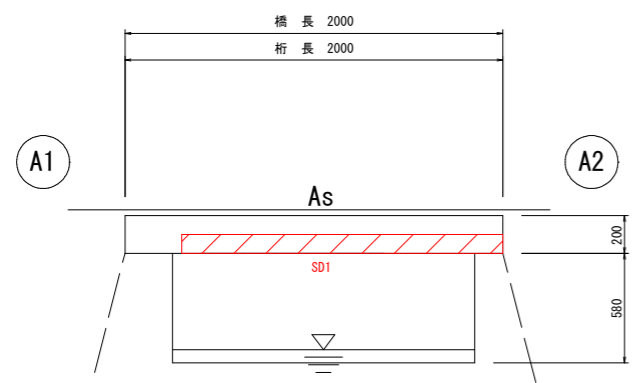
床版下面図



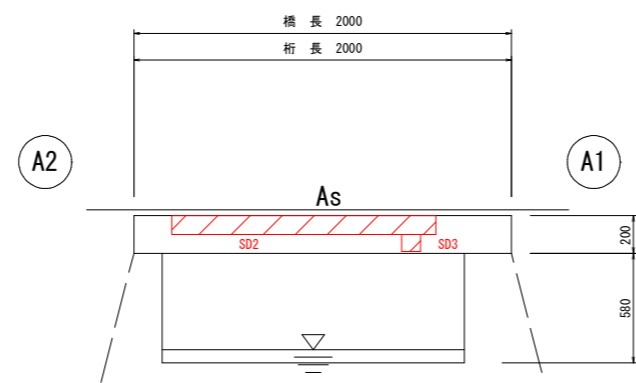
下部工正面図



上流側面図



下流側面図



断面修復工(下部工)

合計(m²) 0.17

注記

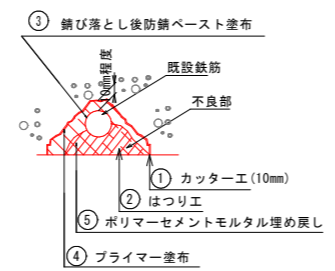
- 補修寸法は現地実測の上、最終決定すること。
- 床版下面の断面修復工は広範囲にあるため、同時に施工すると通行車両の走行に支障があるため、一度の施工範囲を限定して施工すること。
- 床版下面の断面修復工は、既設鉄筋は背面まで露出させてモルタル埋め戻しすること。
- はつり施工時に内部コンクリートおよび鉄筋状況を確認し、劣化していない範囲を確認した後、断面修復範囲を決定すること。
- 水切り工は、断面修復工の後に施工すること。

断面修復工(上部工)

合計(m²) 3.33

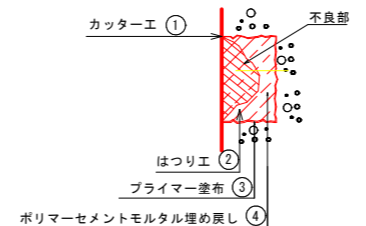
断面修復工 S=Free

【床版用】 t=5cm

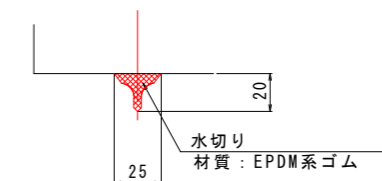


断面修復工 S=Free

【下部工用】 t=5cm



水切り工詳細図 S=1:2



(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

図面番号	第7枚内7号
図面名称	市道下和田東4号線 1号橋ほか3橋りょう補修工事 補修図7
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	